

平成28年度

追跡評価結果

平成28年9月

広島県立総合技術研究所

目 次

1 評価対象及び評価基準	
(1) 評価の対象	1
(2) 評価基準	1
2 評価結果	
(1) 評価結果一覧	3
(2) 評価概要	4

1 評価対象及び評価基準

県立総合技術研究所の研究課題について、「広島県研究課題評価マニュアル」に基づき追跡評価を実施し、その結果を取りまとめた。

追跡評価は、終了後一定期間が経過した課題について、研究成果の活用状況や波及効果等に関する評価を行い、研究成果が及ぼす社会・経済等への効果を把握し、県民に対する説明責任を果たすとともに、研究開発の企画・立案機能の強化、成果移転の効果的な推進に資することを目的として実施するものである。

(1) 評価の対象

平成26年度に終了した研究課題（研究終了後1年を経過した課題）	6課題
平成24年度に終了した研究課題（研究終了後3年を経過した課題）	5課題
平成23年度に終了した研究課題（研究終了後4年を経過した課題）	1課題

(2) 評価基準

(ア) 個別評価基準

① アウトカムの目標達成度（成果移転による直接的・間接的效果）

当該研究課題の実施によって実際にもたらされた事業効果に着眼し、開発技術の移転によるアウトカム（直接的・間接的效果）は、どのようなもので、どの程度の規模や価値を生じたかについて、研究予算総額に対する事業効果の大きさを比較し、次に掲げる目安により評価する。（県民生活上の事業効果を販売額などの数値で表せない場合は、研究予算総額に対して効果があるかどうかで評価する。）

A：目標を上回っている。（見込みを含む。）	研究予算総額<<波及効果
B：ほぼ目標どおり達成している。（見込みを含む。）	研究予算総額≒波及効果
C：目標を下回っている。	研究予算総額>>波及効果

② 成果移転の目標達成度

研究成果の移転における目標達成度を、研究計画書作成段階での目標、移転方法と企業、農家、行政事業等への移転状況及びその理由から評価する。

A：目標を上回っている。	達成度120%以上
B：ほぼ目標どおり達成している。	達成度70%以上～120%未満
C：移転は行っているが、目標を下回っている。	達成度20%以上～70%未満
D：移転は進んでいない。	達成度20%未満

③ 知的財産権等の活用状況

当該研究で生じた知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、著作権、育成者権など）等の活用状況について、実施許諾の有無と、実施許諾している場合は事業化（生産）まで進んでいるかに着眼し、次のとおり評価する。

- A：実施許諾し、事業化されている。
- B：実施許諾を行っている。
- C：知財化（出願等）を行っている。
- D：知財化（出願等）を行っていない。

(イ) 総合判定基準

個別評価をもとに、次のとおり総合的に評価を行う。

S：成果移転，アウトカムいずれも，目標を上回っている。

A：成果移転，アウトカムいずれも，目標をやや上回っている。

B：成果移転，アウトカムいずれも，ほぼ目標どおりである。

C：成果移転，アウトカムいずれも，目標をやや下回っている。

D：成果移転が進んでおらず，アウトカムはない。

2 評価結果

(1) 評価結果一覧

評価結果一覧（課題番号順）

番号	研究課題名	セクター名	個別評価			総合評価結果
			成果移転の目標達成度	アウトカムの目標達成度	知的財産権等の活用状況	
28-追跡-001	多成分同時分析のための超高速抽出カートリッジ	保健	A	A	B	S
28-追跡-002	健康被害をもたらす原因化学物質探索システムの開発	保健	B	A	D	A
28-追跡-003	県内自動車関連製造業へのLCA導入に向けての研究	保健	B	B	B	B
28-追跡-004	樹脂ガラスの超硬化・UVカット表面コーティング技術の開発	西部	B	C	C	C
28-追跡-005	ものづくり基盤技術高度化プロジェクト	西部 東部	A	B	A	A
28-追跡-006	車載部品エレクトロニクス化における安全性向上技術の開発	西部	C	C	C	D
28-追跡-007	炭素繊維複合材料を用いた自動車部品製造のための実用化技術の開発	西部 東部	B	B	C	B
28-追跡-008	ブドウの棚下空間を利用した収量3割増加技術の開発	農業	C	C	D	D
28-追跡-009	濃厚飼料価格高騰に対する自給粗飼料多収・多給技術の開発	畜産	A	A	A	S
28-追跡-010	地付魚（メバル・オニオコゼなど）の蓄養技術の高度化と効率的な活魚輸送技術の開発	水産	B	B	A	B
28-追跡-011	地域ブランド化に結びつくウマツラハギの蓄養・養殖技術の開発	水産	A	B	A	A
28-追跡-012	木材の不燃化等高機能化技術の開発	林業	B	B	C	B

評価結果一覧（総合評価区分別）

番号	研究課題名	セクター名	個別評価			総合評価結果
			成果移転の目標達成度	アウトカムの目標達成度	知的財産権等の活用状況	
28-追跡-001	多成分同時分析のための超高速抽出カートリッジ	保健	A	A	B	S
28-追跡-009	濃厚飼料価格高騰に対する自給粗飼料多収・多給技術の開発	畜産	A	A	A	S
28-追跡-002	健康被害をもたらす原因化学物質探索システムの開発	保健	B	A	D	A
28-追跡-005	ものづくり基盤技術高度化プロジェクト	西部 東部	A	B	A	A
28-追跡-011	地域ブランド化に結びつくウマツラハギの蓄養・養殖技術の開発	水産	A	B	A	A

28-追跡 -003	県内自動車関連製造業へのLCA導入 に向けての研究	保健	B	B	B	B
28-追跡 -007	炭素繊維複合材料を用いた自動車部品 製造のための実用化技術の開発	西部 東部	B	B	C	B
28-追跡 -010	地付魚（メバル・オニオコゼなど）の 蓄養技術の高度化と効率的な活魚輸送 技術の開発	水産	B	B	A	B
28-追跡 -012	木材の不燃化等高機能化技術の開発	林業	B	B	C	B
28-追跡 -004	樹脂ガラスの超硬化・UVカット表面 コーティング技術の開発	西部	B	C	C	C
28-追跡 -006	車載部品エレクトロニクス化における 安全性向上技術の開発	西部	C	C	C	D
28-追跡 -008	ブドウの棚下空間を利用した収量 3 割 増加技術の開発	農業	C	C	D	D

《センター名》

保健：保健環境センター 西部：西部工業技術センター 東部：東部工業技術センター

農業：農業技術センター 畜産：畜産技術センター 水産：水産海洋技術センター 林業：林業技術センター

(2) 評価概要

1) 総合評価方法について

総合評価に当たっては、「成果移転の目標達成度」、「アウトカムの目標達成度」の2項目の個別評価結果を基に総合的に判定した。

なお、知的財産権等の活用状況については、実施許諾の有無を重視し、今後のアウトカムの拡大等への期待値として取り扱う。

2) 結果概要について

5つの評価区分（SABCD）のうち標準であるB評価以上の課題は9課題であった。

そのうちS評価は2課題、A評価は3課題、B評価は4課題であった。

<総合判定基準 再掲>

- S：成果移転，アウトカムいずれも，目標を上回っている。
- A：成果移転，アウトカムいずれも，目標をやや上回っている。
- B：成果移転，アウトカムいずれも，ほぼ目標どおりである。
- C：成果移転，アウトカムいずれも，目標をやや下回っている。
- D：成果移転が進んでおらず，アウトカムはない。